



Keidanren Women's Executive Network

Leadership
Mentor
Program私のキャリアの軌跡
～挑戦

経団連女性エグゼクティブ・ネットワーク

第29回リーダーシップ・メンター・プログラム

2023年9月28日 東京・大手町 経団連会館

自らの手で道を切り拓く

これまでのキャリアの道のりを三つのキーワードで表現すると、①クロスセクター②グローバル③挑戦——である。バンク・オブ・アメリカでキャリアをスタートし、その後日本長期信用銀行（長銀）、プライスウォーターハウスクーパース（PwC）、横浜市副市長、清華大学日本研究センター、そしてヴェオリア・ジャパンと、金融、コンサル、行政、事業会社を経験した。また、ニューヨーク、ロンドン、北京、シンガポールなど諸外国で勤務する一方で、日本にPFI（Private Finance Initiative）事業を普及させるために地方自治体を回り、現在は、地域密着の水道事業やバイオマス事業に携わるなど「グローバル、なキャリアである。さらに、勤務先が破綻したり、改革のさなかに市長が突然退任したり、いばらの道のりだったが、こうした経験があったからこそ、新しい挑戦に立ち向かい、人の歩かない道を切り拓いてこられたように思う。

キャリアの原点
～日本を再び世界で輝く国に

挑戦を続けてきた根底には、一貫して「なんとか日本を良くしたい」という思いがある。1980年代終わりに「Japan as No.1」と称賛された日本の国際競争力は、バブル崩壊後

坂を転げ落ちるように低下し、時価総額世界22位だった長銀も経営破綻した。大きなショックを受けた。なぜ日本の競争力はこれほどまでに低下したのか、日本がもう一度世界で輝くために何が必要なのか。自分自身がどう貢献できるのか、真剣に考えるようになった。この信念はキャリアを通じて揺らいでおらず、官民連携で日本を元気にしようと英国のPFI手法を日本に普及させたり、地方から日本を変えたいと横浜市で改革を推進したり、チャレンジを続けた。この思いは、現在当社で、水・廃棄物・エネルギー事業を通じて、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に貢献したいと活動していることにもつながっている。

諦めなければ
「誰かが手を差し伸べてくれる」

キャリアを歩むなかで、「女性」「中途採用」「民間採用」など、さまざまなマイノリティーの立場を経験したほか、PFI市場や都市ソリューションセンターの立ち上げなど、ファーストベンチンとして挑戦をしてきた。新しいことへの挑戦には、常に困難と抵抗が伴い、理不尽と思うことも多く経験した。それでも、あきらめずに頑張っていれば、どこかで誰かが見えて、手を差し伸べてくれる。だから、今がある。長いキャリアの途上で、さまざまな壁にぶつかったり、時に崖から滑り落ちたりすることもあるが、諦めずに前進してほしい。

Mentor Profile

野田 由美子氏

(一社)日本経済団体連合会
副会長ヴェオリア・ジャパン合同会社
代表取締役会長

バンクオブアメリカ東京支店、日本長期信用銀行本店・ニューヨーク支店・ロンドン支店勤務の後、PwC（英国）に入社。PwC日本のパートナーとしてPFI・PPPのアドバイザリー業務に従事。横浜市副市長、清華大学日本研究センター（北京）のシニアフェローを経て、2017年ヴェオリア・ジャパン社長に就任、2020年より現職。東京大学卒、ハーバードビジネススクール卒（MBA）。

